

会議名	令和3年度第7回 加古川市石綿関連疾患リスク推定部会	
日 時	令和3年11月2日（火） 10時00分～11時30分 国際交流センター 201会議室	
出席者	部 会 員：村山部会長、名取委員、大田黒委員、亀元委員、鷲見委員、富田委員 建 設 部 中務部長、糺谷次長、溝渕参事 事 務 局：営繕課 萩原課長、高木副課長、横田副課長、乾係長、尾崎係長 森田技師	
会議次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 部会員出席状況報告</p> <p>3. 配布資料確認</p> <p>4. 『大気汚染防止法に関する追加説明資料』の最終確認について</p> <p>5. 議 題</p> <p>議題1 中間報告書各章素案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1章「事案の経緯、委員会・部会の開催状況（仮題）」 【資料1】 ・ 2章「リスク推定を進めるためのフローの検討（仮題）」 【資料2】 ・ 3章「アスベストを含む下地調整材の概要（仮題）」章立て【資料3】 ・ 4章の項目「アスベスト含有量の推定（仮題）」 【資料4】 ・ 6章「周辺地域の濃度推定に向けた作業経過（仮題）」 【資料5】 <p>※5章「擬似漏洩実験による屋内漏洩状況の推定（仮題）」は、 次回（第8回）に素案提出予定</p> <p>議題2 中間報告書への章の追加検討、今後の予定 【資料6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7章への追加検討 <p>6. そ の 他</p> <p>7. 閉 会</p>	備考
配布資料	<p>資料1 1章素案</p> <p>資料2 2章素案</p> <p>資料3 3章章立て</p> <p>資料4 4章項目素案</p> <p>資料5 6章素案</p> <p>資料6 中間報告書目次案（更新版）</p>	

第7回 リスク推定部会 議事録（全文）

1. 開 会

2. 部会員出席状況報告

3. 配布資料確認

事務局 本日の部会を始めさせていただきたいと思います。村山部会長、議事進行につきまして、どうぞよろしく願いいたします。

部会長 よろしく願いいたします。それでは次第に従って進めさせていただきます。

4. 『大気汚染防止法に関する追加説明資料』の最終確認について

-環境政策課より説明-

名取委員 修正をされてわかりやすくなりました。追加で修正のお願いですが、大気汚染防止法と、兵庫県条例の改正年月日も明記をお願いします。また、今後石綿障害予防規則及び建設リサイクル法については、委員会として最終報告で挙げていく必要があり、これに関する資料を当部会で作成していくことになると思います。

環境政策課 大気汚染防止法の改正日付を記載します。

鷺見委員 兵庫県条例について、特定工作物解体工事に伴う粉じんの大気中への排出または飛散を防止するための基準というものが、これが本年の1月29日で改正されています。大気汚染防止法と同様に、今年の4月1日から改正規定が適用されています。

環境政策課 特定工作物解体工事に伴う粉じんの大気中への排出または飛散を防止するための基準の中で、近隣の方にどのような対策をとりながら工事をするかを掲示する看板の内容(主として看板の大きさ等)について、大気汚染防止法の改正の内容と整合を図るように改正になっております。その改正時期も明記します。

部会長 その他石綿障害予防規則、建設リサイクル法について部会として最終報告に含める方向で確認していきたいと思います。

亀元委員 資料中の「非飛散性石綿含有材料」という表記は有効ですか。環境省は「非飛散性」という表現を現在は使用していません。

環境政策課 条例では、「特定石綿含有材料」「非飛散性石綿含有材料」という表記で分類されており、有効です。

亀元委員 成分が全く飛散しない、という誤解を招く表現だと気になりました。
名取委員 「※3」に記載されている、「～兵庫県に意見照会を行い～」について、照会を行った時期を追記していただけますか。
環境政策課 追記させていただきます。

5. 議題

議題1 中間報告書各章素案について

・1章「事案の経緯、委員会・部会の開催状況（仮題）」

-事務局より説明-

名取委員 今回の説明であった工事及び委員会の開催に至るまでの説明会等の経緯の案は12月の部会には提出のうえ、公開可能でしょうか。

事務局 次回の12月の部会で提出予定です。

・2章「リスク推定を進めるためのフローの検討（仮題）」

-部会長より説明-

・3章「アスベストを含む下地調整材の概要（仮題）」章立て

-名取委員より説明-

部会長 (2)の文献について「JIS A6916」「JASS 23」は取り寄せが完了し、PDFデータの作成中です。ただし、「建築用仕上塗材ハンドブック(1980年代分)」が、埼玉県図書館で唯一蔵書があるのですが、外部へ持ち出し不可となっております。どう対応するかを検討しています。

名取委員 図書館内で複写する場合も、著作権法で1回あたり(1冊のうちの)半分しか複写できないことになっています。

部会長 3章については、今後内容が追加されていくことになると思います。

亀元委員 含有していた成分の内容がわかれば分析もしやすいので、事前に入手されている資料があればいただきたいです。

部会長 はい。JISやJASSの資料も400ページ以上あり、時間がかかりそうですが、ファイルができ次第、共有させていただきます。

・4章の項目「アスベスト含有量の推定（仮題）」

-大田黒委員より説明-

名取委員 これは最終稿と考えてよろしいでしょうか。

大田黒委員 はい。黄色いハイライトの文言等は、皆様にも検討いただきたい箇所ですが、この章を作成した、私と冨田委員は最終稿という認識です。

名取委員 ありがとうございます。

部会長 次の5章ですが「疑似漏洩実験による屋内漏洩状況の推定（仮題）」とし、こちらについては現在作業中で、次回（第8回）の部会でご提示いただけるということで、お願いいたします。

・6章の項目「周辺地域の濃度推定に向けた作業経過（仮題）」

-村山委員より説明-

名取委員 一般の方がより理解しやすいよう、修正をお願いしたいです。例えば、METI-LIS については 659 物質中の石綿の有無や、石綿はないけど類似物質が有る等を記載いただけたらと思います。また METI-LIS 自体の説明を記入し、典型的な図表があれば挿入いただけたらと思います。その他 PRTR、流体力学方程式、ガウス型プルームモデル、国環研、ダウンウォッシュ等の説明の記載や、現象を示す図があれば挿入いただきたいです。

部会長 ご指摘いただいた点について、わかりやすく説明を加えていきたいと思えます。

亀元委員 参考資料の電力中央研究所報告の実験で、横軸の距離はどれぐらいですか。

部会長 横軸は、建物の高さに対する比で表されています。今の赤い点線で示している、高さの3倍の距離が一つの区切りになると思います。

議題2 中間報告書への章の追加検討、今後の予定

-名取委員より説明-

名取委員 項番7「今後の予定」の項目を1月の部会には提示いただけるよう、村山部会長、作成お願いできますでしょうか。

部会長 進捗状況や残っている課題は、整理する必要があるのですが、素案について私の方で作成します。ただ最後の法的問題点とか再発防止健康対策については、名取委員に作成をお願いできますか。

名取委員 今後の目処を記載する形になると思いますが、その素案は私が作成します。

部会長 中間報告として作業段階を示すということで、今後どういう形で進めるのかということも含めて説明をしていく必要があります。全体通して何かご意見ご質問等ありますか。

今日の冒頭に扱った大気汚染防止法や県の条例も報告内容に含めていくことになると思われませんが、追加する箇所として、「これまでの経緯」を最初に記載

いただくのであれば、そちらに追加すればよろしいでしょうか。この点はまた、ご相談をしたいと思います。

名取委員 中間報告の内容について、おそらく12月部会でもまだ完成稿までいかないと思います。ただ1月部会ではもう中間報告が近いので、その段階で難しい議論があるところについては一旦中間報告から外し、完全に委員の意見が一致した部分について、2月の中間報告会で発表する形になると思います。(中間報告まで)部会はあと2回なので、部会間の打ち合わせをしながら、結論がでない分には検討中の項目にあげていくという進め方で、部会長よろしいでしょうか。

部会長 はい。時期が決まっていますので、それに向けてできたところまでまとめていけば良いと思います。

先ほど名取委員から、6章のところでお話しいただいた点で、かたまった内容がわかりやすいかについて、検討していかないといけないと思います。流体力学モデルと大気拡散モデルがどう違うか、なぜ分けないといけないかも検討する必要があります。

名取委員 その内容についても、記載しておく必要があると思います。

部会長 では、それぞれの章及び、次に持ち越した第5章について、次回の部会で、検討を進めていきたいと思っています。

(この後、今後の開催日程を確認して閉会)

第8回：12月 3日(金) 14:00～

第9回：1月 18日(火) 14:00～